



平成 30 年度事業報告書

平成 30 年 4 月 1 日から平成 31 年 3 月 31 日まで

(NPO 法人対話する市民後見くもと「カタルパ」)

1 事業の方針

(1) 活動の方針

損保ジャパン日本興亜福祉財団 2017 年度事業助成（NPO 基盤強化資金助成）を受け、「老人会などの小規模団体に勉強会をし、市民後見人の実現を目指す」の実現を年度目標として「半歩前進！」を合言葉に、市民後見活動を着実に推進した。

(2) 事業の実施

ア 月例勉強会

原則、第 3 土曜日に熊本市総合体育館青年会館研修室を予約して計画的に実施した。年度前半は対話カフェ・事例研究会・セミナー等、後半は会員の QOL（生活の質）を高めるため会員の自主的研究発表を取入れ実施した。

各勉強会では参加者の生活対話（フリートーク）により問題点の把握と相互連携を図った。

また、勉強会不参加者には勉強会実施記録等を郵送、当 NPO 法人の現況を伝達し会員の相互連携に努めた。

イ 市民後見人の実現

熊本市社会福祉協議会の生活支援員として会員 5 名が支援活動を行っている。

本年度、熊本市社会福祉協議会の法人後見協力員（登録者数 4 名のうち会員 2 名）として登録され平成 31 年 1 月以降支援活動を開始した。

ウ 地域コミュニティづくり支援助成（地域後見支援団体等との協働）

熊本市北区地域コミュニティづくり支援事業（魅力ある老人クラブ）に応募し 8 月に認定、熊本市老人クラブ連合会との調整不十分（個人情報保護の観点）により事業は年度末に取消となった。

今後は、NPO 法人として老人クラブ（老人会）の実態調査を実施して地域の共生社会に寄与する。

エ 対人援助

生活支援員の実践活動により対人援助能力向上を図るとともに、大学や支援団体等のセミナー等に参加し認知症高齢者の援助スキルを向上した。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

定款の 事業名	事業内容	実施 日時	実施 場所	従事者 の人数	受益対象者 の範囲及び 人数	支出額 (円)
成年後見 制度の普 及啓発及 び相談に 関する事 業	東区の「つながりカフェ」 に参加し成年後見制度 について普及啓発した。	4/19	熊本市 託麻公 民館	2名	つながるカフ ェ12名	52,668
	5月勉強会で対話カフェ 「市民後見とは？」を実 施、成年後見制度促進と 市民後見の意識高揚を 図った。	5/19	熊本総 合体育 館青年 会館	3名	会員12名	
	6月勉強会で「任意後見 人活動支援」の事例研究 会を実施、任意後見の 概要と事例研究法の普 及を図った。	6/16	熊本総 合体育 館青年 会館	2名	会員9名 一般1名	
	北麻生田校区老人クラ ブ役員会で成年後見制 度とNPO法人の概要を 説明し普及啓発を図った	10/8	北区麻 生田コ ミュニ ティ センター	1名	役員13名	
	麻生田第4町内老人クラ ブ会長と対話し老人クラ ブの現状と問題点の把 握と成年後見制度の概 要を説明し普及啓発を 図った。	11/8	北区麻 生田コ ミュニ ティ センター	1名	会長1名	

市民後見人及び生活支援員の養成及び育成に関する事業	平成30年度熊本県生活支援員等研修に参加、対人援助技法を習得した。	7/25	熊本市 RKKホテル	5名	受講者 100名	21,002
	#1 市民後見人フォローアップ研修を受講、法人後見協力員の概要を理解した。	10/27	熊本市 社会福祉協議会	5名	受講者 50名	
	#2 市民後見人フォローアップ研修を受講、任意後見の概要と市民後見人の就任時における行動を習得した。	12.8	熊本市 社会福祉協議会	2名	受講者 40名	
	#3 市民後見人フォローアップ研修を受講、任意後見の概要と市民後見人の就任時における行動を習得した。	1/17	熊本市 社会福祉協議会	2名	受講者 40名	
	熊本市社会福祉協議会の法人後見協力員として2名が登録され支援活動を開始した。	1/10 以降	熊本市	2名	被支援者 4名	
地域後見支援団体等との協働に関する事業	北区家族介護者のつどい」月例会に参加、認知症高齢者の介護者の実践を理解するとともに、市民後見人の概要を説明した。	4.21 5.19 6.16 7.28 9.15 11/17 12.15 2.16	熊本市 北区コミュニティセンター	2 ～ 3名	介護者 8～10名	14,671

	熊本県「認知症の人と家族の会」月例会に参加、認知症の事例研究と認知症高齢者の実態を把握するとともに、見守り支援の概要を説明した。	5/26 6/23 7/28 9/15 1/26 2/23	熊本市 中央区	2名	家族介護者 6～10名	
	八代市介護施設で対話カフェを実施した。	5/23	八代市	2名	施設長以下 11名	
	熊本市老人クラブ連合会会長と面談、北区地域コミュニティづくり事業とNPO法人の概要を説明した。	7/3 9/4 12/26	熊本市 北区	1名	2名 会長、事務局長	
	熊本市北区地域コミュニティづくり支援審査会でプレゼンテーションを実施した。	7/30	熊本市 北区支所	2名	審査員4名	
	山都町及び益城町で老人クラブ会員と老人クラブの現状と問題点について討議した。	10/10 11/28	熊本県 山都町 益城町	2名	老人クラブ会員4名	
	北区楡木老人むつみ会、武蔵老人クラブ、楡木西老人会で会員と対話し老人会の現状を把握するとともにNPO法人の現況を説明した。	1/20 2/4 2/5 2/18 2/20 3/6	楡木・楡木西・武蔵老人憩いの家	1名	老人会会員 10～20名	
	9月勉強会(理事会)で損保ジャパン日本興亜福祉財団助成の修正(2年間)と北区地域コミュニティづくり支援助成について説明し承認を得た。	9/22	熊本市 総合体育館青年会館	1名	会員11名	
対人援助に関する調査・研究に関する	7月勉強会で元熊本大学教授の「認知症について」のセミナーを実施した。	7/21	熊本市 総合体育館青年会館	3名	会員9名 一般1名	45,998

事業	10 月勉強会で会員による「人生の最終段階における意思決定支援」を実施、メッセージノートとACPについて討議した。	10/27	熊本市 総合体育館 青年会館	2名	会員10名
	11 月勉強会で10月のメッセージノートの作成について討議した。	11/17	熊本県 総合福祉センター	1名	会員5名
	12・1 月勉強会で会員による「高齢者の悪徳商法被害について」の講義受けし対人援助について討議した。	12/15 1/19	熊本市 男女参画支援センター	2名	会員4名
	2 月勉強会で会員の経験による「民生委員について」及び「墓を巡る事情について」の講義受け対人援助等について討議した。	2/23	熊本市 総合体育館 青年会館	3名	会員10名
	会員宅を訪問面談、認知症高齢者と対話により対人援助のスキル向上を図った。	5/16 8/30	熊本県 阿蘇市	1名	会員及び家族3名
	熊本大大学院集中講義を受講し、医療者に必要な対話能力と認知症の人の日常生活・社会生活における意思決定支援を習得した。市民後見人の役割について説明した。勉強会に反映した。	8/18 8/19 8/26	熊本大 学院	2名	学生10名

	熊本大学大学院が実施した「紛争解決学で読み解く認知症」を受講、ワークショップ「認知症の当事者と周りの人の葛藤変容」を実践者と討議した。勉強会に反映させた。	9/29	熊本大学大学院	2名	受講者 50 名	
	会員による「終末期における意思決定支援(メッセージノート)」について、高齢者との対話を実践した。	12/21	天草市	1 名	一般(親戚) 3 名	
	会員による「死亡時の整理をどうするか」についてひとり暮らし高齢者・高齢者夫婦と対話推進した。	12/27	菊陽町 精華台 団地	1 名	一般(知人)6 名	
成年後見人等の受任に関する事業	左記の事業は、熊本市社会福祉協議会后見協力員として支援活動を開始、来年度以降も左記事業について実施予定。					0
親族後見人の支援に関する事業	3 月勉強会で熊日新聞記事「成年後見 報酬を見直す」を活用して、親族後見人の重要性について討議した。	3/16	熊本市 総合体育館 青年会館	7 名	会員 7 名	2,832

平成30年度 活動計算書

平成30年4月1日から平成31年3月31日まで

(NPO法人対話する市民後見くまもと「カタルパ」)

科目	金額 (単位:円)		
I 経常収益			
1 受取会費			
正会員受取会費	75,000		
賛助会員受取会費	12,000	87,000	
2 受取寄附金			
受取寄附金			
施設等受入評価益			
3 受取助成金等			
受取民間助成金		0	
4 事業収益			
成年後見制度の普及啓発及び相談に関する事業収益			
市民後見人及び生活支援人の養成及び育成に関する事業収益			
地域後見支援団体等との協働に関する事業収益			
対人援助に関する調査・研究に関する事業収益			
5 その他収益			
受取利息	1		
雑収入	0		
経常収益計	87,001		87,001
II 経常費用			
1 事業費			
(1) 人件費			
給料手当			
臨時雇賃金			
法定福利費			
人件費計	0		
(2) その他経費			
旅費交通費	44,551		
通信運搬費	22,374		
印刷製本費	3,737		
消耗品費	22,475		
備品費			
水道光熱費			
地代家賃			
保険料			
会議費	32,034		
支払手数料	12,000		
その他経費計	137,171		
事業費計	137,171	137,171	
2 管理費			
(1) 人件費			
給料手当			
役員報酬			
福利厚生費			
人件費計			
(2) その他経費			
旅費交通費			
通信運搬費	940		
印刷製本費			
消耗品費	61,093		
備品費			
水道光熱費			
地代家賃			
保険料			
会議費			
雑費・支払手数料・租税公課	966		
その他経費計	62,999		
管理費計		62,999	
経常費用計			200,170
当期経常増減額			(113,169)
III 経常外収益			
1 固定資産売却益		0	
経常外収益計			0
IV 経常外費用			
1 過年度損益修正損		0	
経常外費用計			0
-1 当期正味財産増減額			-113,169
前期繰越正味財産額			322,273
次期繰越正味財産額			209,104

計算書類の注記(平成 30 年度)

法人名：NPO法人対話する市民後見くもと「カタルパ」

1. 重要な会計方針

計算書類の作成は、NPO法人会計基準（2010年7月20日 2017年12月12日最終改正 NPO法人会計基準協議会）によっています。

(1)固定資産の減価償却の方法

(2)施設の提供等の物的サービスを受けた場合の会計処理

(3)ボランティアによる役務の提供

(4)消費税等の会計処理
税込み方式によっています。

2. 事業費の内訳

(単位：円)

科目	成年後見制度の普及啓発及び相談に関する事業費	市民後見人及び生活支援員の養成及び育成に関する事業費	地域後見支援団体等との協働に関する事業費	対人援助に関する調査・研究に関する事業費	成年後見等の受任	親族後見人の支援に関する事業費	合計
(1) 人件費							
給料手当						0	
臨時雇賃金						0	
福利厚生費						0	
人件費計	0	0	0	0	0	0	0
(2) その他経費							
会議費	2,840	10,750	2,572	14,516		1,356	32,034
旅費交通費	44,551					0	44,551
諸謝金						0	
通信費	1,540	2,940	5,042	11,376		1,476	22,374
広告宣伝費						0	
消耗品費		5,812	1,057	15,606		0	22,475
修繕費						0	
水道光熱費						0	
保険料						0	
印刷製本費	3,737					0	3,737
支払手数料		1,500	6,000	4,500		0	12,000
その他経費計	52,668	21,002	14,671	45,998	0	2,832	137,171
合計	52,668	21,002	14,671	45,998	0	2,832	137,171

3. 固定資産の増減内訳

(単位：円)

科目	期首取得価額	取得	減少	期末取得価額	減価償却累計額	期末帳簿価額
合計	0	0	0	0	0	0

4. 借入金を増減内訳

(単位：円)

科目	期首残高	当期借入	当期返済	期末残高
合計	0	0	0	0

平成30年度特定非営利活動に係る事業会計貸借対照表
平成31年3月31日現在

(NPO法人対話する市民後見くまもと「カタルパ」)

科目	金額(単位:円)		
I 資産の部			
1流動資産			
現金			
預金	209,104		
未収金			
流動資産合計		209,104	
2固定資産			
土地			
家屋			
車両			
固定資産合計		0	
資産合計			209,104
II 負債の部			
1流動負債			
短期借入金			
預かり金			
理事長立替金			
流動負債合計		0	
2固定負債			
長期借入金			
退職給与引当金			
固定負債合計		0	
負債合計			0
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産		322,273	
当期正味財産増加額(減少額)		-113,169	
正味財産合計			209,104
負債及び正味財産合計			209,104

平成30年度特定非営利活動に係る事業会計財産目録
平成31年3月31日現在

(NPO法人対話する市民後見くまもと「カタルパ」)

科目・摘要	金額(単位:円)		
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金			
現金 (現金手許有高)	0		
普通預金(ゆうちょ銀行楠支店)	194,104		
普通預金(肥後銀行楠支店)	15,000		
未収金	0		
流動資産合計		209,104	
2 固定資産			
土地			
家屋			
車両			
固定資産合計		0	
資産合計			209,104
II 負債の部			
1 流動負債			
短期借入金			
退職給与引当金			
固定負債合計			
流動負債合計		0	
2 固定負債			
長期借入金			
退職給与引当金			
固定負債合計医			
固定負債合計		0	
負債合計			0
正味財産			209,104

監査報告書

平成31年4月20日

平成30年度決算において適正に処置されていることを認めます。

監事 中元 清二



監事 砂原 哲志

